



事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	S39 ～	E-mail	ringyou@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	1. 労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				
	3-8 生活を支える地域交通の確保				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。 （里山の集約化、高性能機械の導入及び路網の整備により低コスト化・効率化を図り、素材生産目標（R4）80万㎡を目指す。）	
	【これまでの取組】 里山の集約化、高性能林業機械の導入、オペレータ養成、県営林道の開設、補助林道整備、森林作業道整備等	
令和2年度 点検結果 ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 里山の小規模個人有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている。 作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている。 主伐、再生林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備等を実施するための施業同意の取得に取り組む主体を支援し、里山の森林整備の集約化を促進。 事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図る。 林内作業道だけでなく、県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林内路網の整備を促進。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 里山の森林整備の集約化を促進 <ul style="list-style-type: none"> 森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業 同意や境界明確化等を支援 ✓ 高性能林業機械の導入の促進 <ul style="list-style-type: none"> 木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高め、林業就業者の確保・定着を図るため、高性能林業機械の導入を支援 ✓ 県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林内路網の整備を促進 <ul style="list-style-type: none"> 県産材を効率的かつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道を整備 	 <p>高性能林業機械</p>  <p>林内路網整備</p>
----------------------	---	--

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	R1年度	R2年度	R3年度	
事業 コスト	1 里山の集約化 (ha)	324	263	↘ 418	↗ 450	前年度繰越	573,409	667,127	要求 1,028,233
						当初予算	1,034,855	976,472	予算案 —
						補正予算	259,213	-63	
						合計(A)	1,867,477	1,643,536	要求 1,028,233
						うち一般財源	81,035	59,122	予算案 —
	決算額(B)	1,104,771							
	職員数(人)		34.5	28.1					
成果指標 設定理由	1 効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を指標に設定（基本方針を基に設定） 2 林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため指標に設定（森林づくり指針を基に設定）								

事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	林業基盤整備事業	107,838 千円	72,228 千円	要求 114,488 予算案 － 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	林業事業者が行う高性能林業機械の導入（リース含む）への補助（高性能林業機械（フォワーダ等）を13台導入予定）
2	高性能林業機械導入推進事業	委託	林業事業者を対象とした、高性能林業機械のオペレーター養成研修の開催を外部委託
3	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	林道整備事業	927,017 千円	904,244 千円	要求 913,745 予算案 － 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る。（13路線、22.8kmの維持管理）
2	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助（19路線を整備予定）
3	公共林道事業	直接	県営事業による林道の開設（開設5箇所を実施予定）
4	公共林道事業	補助金	市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助（開設5箇所、改良34箇所、舗装4箇所、橋梁補修等8箇所、計51箇所を実施予定）
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に係る助成（特定林道（南アルプス線、奈川安曇線）2箇所を実施予定）